

日本舞踊の祭典 開催要項

～おこしやす はんなり 京^{みやこ}で舞い踊り～

1200年の悠久の都、京都。

日本舞踊は、約400年前に一人の女性が京都で演じた念仏風流を端緒に、流行と発展を遂げたとされています。人間の内面や様々なドラマを「舞い」と「踊り」で表現する日本舞踊。それは、長い歴史の中で磨かれ、工夫されながら受け継がれてきた、日本の心のかたちであり、日本人の心映えの美しさを今に伝える伝統芸術です。

京都の春の風物詩である「都をどり」の会場でもある祇園甲部歌舞練場を舞台に、全国の日本舞踊の愛好家とともに、京都から日本舞踊の素晴らしさを発信し、未来に向けて、その魅力を引き継いでいきます。

開催日時

平成23年10月30日(日) 10:00～17:00

会場

祇園甲部歌舞練場

舞台:間口18.1m 奥行17.2m 高さ4.2m

両花道:舞台幅1.2m 長さ13.6m 客席数:928席

〒605-0074 京都市東山区祇園町南側570-2

主催者

文化庁 京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会 (社)日本舞踊協会 (社)日本舞踊協会 関西支部京都・滋賀ブロック 第26回国民文化祭京都府実行委員会 第26回国民文化祭京都市実行委員会

事業内容

- (1) 全国の日本舞踊家による舞踊を発表します。
- (2) 京都を中心に活躍する日本舞踊家による舞踊を発表します。

出演団体(者)数等

- (1) 出演団体数 15団体程度
- (2) 演技時間 1団体20分以内

出演に要する経費

会場費や舞台にかかる基本的な経費については、主催者が負担します。

出演に要する経費(宿泊費、交通費、運搬費、化粧・かつら・衣裳代等)については、原則として各出演団体(者)の負担となります。

出演団体(者)の決定

出演団体(者)は、各都道府県の推薦に基づき、第26回国民文化祭京都府実行委員会及び国民文化祭実行委員会の審議を経て、文化庁が決定します。なお、各都道府県は、出演団体(者)を推薦するときは、別紙推薦書を第26回国民文化祭京都府実行委員会事務局に送付してください。

問い合わせ先

第26回国民文化祭京都市実行委員会事務局

(京都市文化市民局文化芸術都市推進室国民文化祭推進課内)

〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町394番地 Y・J・Kビル2階

TEL 075-366-1495 FAX 075-213-4105

E-mail kokubunsai@city.kyoto.jp

【参考】平成23年10月29日(土)リハーサル